

## 2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	LCA 評価手法開発小委員会		主 査 名：磯部 孝行 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会		委員長名：糸長 浩司
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2021 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	初年度：1) 前小委員会で実施した LCA 改善点の検討の整理、2)LCA 利活用調査 2 年度：1) LCA の評価手法の提案、補助ツールの開発※BIM を用いた LCA 評価 の課題整理など、2)LCA 指針・ツールの改訂		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有		
	主査：磯部孝行 (武蔵野大学)、幹事：鈴木好幸 (安藤間) 委員：雨宮沙耶 (清水建設)、伊香賀俊治 (慶應義塾大)、伊藤優 (戸田建設)、木原勇信 (鹿島建設)、小林謙介 (県立広島大)、鈴木道哉 (東北学院大学)、多葉井宏 (竹 中工務店)、近田智也 (積水ハウス)、外岡豊 (埼玉大)、李柱国 (山口大)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2019 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/tkankyo/s5/">http://news-sv.aij.or.jp/tkankyo/s5/</a>	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等 は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー 等) *能力開発支援事業委員 会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント 等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得 られた成果との関係)	1) 前小委員会で実施した LCA 改善点の検討の整理において、単位換算データベ ース構築を目標に追加調査の実施に加え、それらの内容を LCA 学会等にて発表予定 である。 2) LCA の利活用調査においては BIM への統合や環境配慮型建築の認証制度に広く 利用されていることが分かった。また、LCA 評価の国際的動向調査について、海 外の研究事例を多数収集できており、今後、分析予定である。
委員会活動の問題 点・課題	実態の LCA 評価活用の改善点や利活用を鑑みると、積算情報の取扱いや海外にお いては BIM モデルの活用など、専門領域が建築生産等の他分野にまたがっている 点が課題である。課題を解決するために、次年度は、他分野の有識者や実務家と連 携していく予定である。